

# 令和元年度マイスター講座 前期校外学習だより

マイスター講座運営委員会

行き先：海の京都 ユネスコ世界記憶遺産 カモメ舞う舞鶴

実施日：令和元年6月25日（火）出発 8：30～帰着 18：00

今年は、梅雨前線が北上せず入梅が遅れていた。〈ただし、次の日に入梅宣言〉舞鶴の降水確率0% 最高温度 27℃の好天気とのこと。夜明けから陽が差し込み、曇ひとつない快晴。集合場所には、パワーあふれる仲間が集合。235名を乗せて5台のバスは出発。中国自動車道、舞鶴自動車道もすいすいと走れて、10：40には舞鶴に到着する。



「舞鶴引揚記念館」は、第二次世界大戦後、旧ソ連に抑留された約60万人の人たちの苦難に満ちた引き上げの歴史を伝えている。語り部さんの話で、厳冬のシベリアでの過酷な状況、中でも工夫を凝らし生き抜く日本人の知恵、日本で待つ家族への思い、帰りたい！の願い等々、聞き入ってしまった。改めて、戦争はだめ！と叫んだ。



「ランチ」は肉じゃが（当地の名物）がメインの季節御膳料理をいただく。飲み物は、飲み放題！払い放題！バスはすぐ近くの「赤レンガ博物館」へ。煉瓦は古くから仏教の伝来と同じところに伝わり、建築工事の大切な役割をしてきた。舞鶴には、明治に海軍が建設した多くの赤レンガ建造物が残っている。その美しさは今にも伝えており、日本遺産に認定されている。

バスは20分ほどで「五老ヶ岳公園」に到着。海拔301メートルで360度の展望。真下には舞鶴湾、ブルーの空に浮かぶ白い雲。丹後半島、福井の新緑の山々、群青色の海、谷間に見える白い街並み。いつまでも眺めていたい絶景地だった。しかし、暑さもピーク、30℃に近かったかも。

最後は道の駅「とれとれセンター」でお買い物。舞鶴港で水揚げされた海の幸や、お土産ものをおつまみに買われた方も多かったようです。15：40バスは帰路に。行きと反対のコースで17：50頃に、宝塚に到着。程よい疲れとお土産を手に。235名全員無事に帰ってきました。

